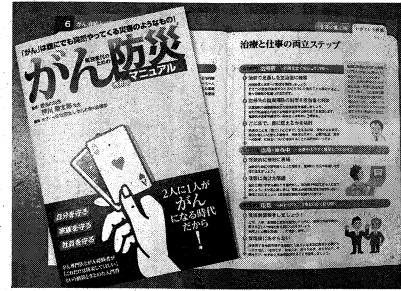


元患者ら団体がマニュアル

日本人の2人に1人はかかる... がんを誰にでも降りかかる、災害と捉え、備えるための「がん防災マニュアル」を元患者らの団体が作成し、無料配布している。



元患者らが作成した「がん防災マニュアル」

心構えや医療費など情報

きのために日頃から備えてほしいとの意味で、マニュアルを監修した宮崎善仁(宮崎県)の押川勝太郎医師が提唱している。

追試会場、全都道府県に

大学入学共通テスト

高校長協会が要望書

大学入学共通テストについて、追試会場を全都道府県に設置することを求める要望書を文部科学省に提出した。

脊髄治療 走って支援

世界同時ランイベント

脊髄損傷の治療研究の支援を目的に、世界同時にスタートするランニングイベント「ウイングス・フォー・ライフ・ワールドラン」が9日、開催される。

「特定技能」外国人7倍

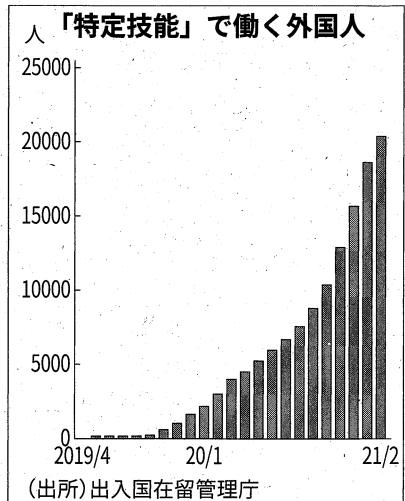
「特定技能」の在留資格で働く外国人が急増している。2月末時点で2万人超と前年同様の約7倍となった。



技能実習から移行し食品加工に携わる特定技能のベトナム人ら(埼玉県のミート・コンパニオン鶴ヶ島工場)

技能実習生、帰国できず移行 コロナ禍、企業「貴重な戦力」

4月下旬、埼玉県鶴ヶ島市にある食肉卸「ミート・コンパニオン」の加工工場。特定技能のベトナム人従業員らが正社員やパート従業員らに交じり、牛肉のカットや真空パックなどの作業に追われていた。



技能実習と特定技能の制度が日本でも学んだ技能や技術を母国で生かしてもらう「国際協力」を目的とする。

が深刻な介護、建設、宿泊など14分野で即戦力の外国人を受け入れるため、特定技能の資格を得るには主に▽技能実習を

修了▽国内外の試験に合格▽2通りがある。政府は特定技能(1号)の受け入れで「5年間で最大34万5150人」を想定したが、伸び悩んでいた。

Table with 3 columns: 国内での確認 (Domestic Confirmation), 国内の新型コロナウイルス感染者 (Domestic COVID-19 Infections), and 北日本は雨多 全国で気温高め (North Japan Rainy, High Temp Nationwide). Includes sub-tables for regional COVID-19 cases and weather forecasts.

北日本は雨多 全国で気温高め 気象庁は7日までに、4月の天候まとめを発表した。降水量は北日本(北海道、東北)でかなり多かったが、沖縄・奄美ではかなり少なかつた。

一方、ベトナム行きなどの航空便は連休が相次ぎ、技能実習を終えても帰国できない実習生は少なくない。こうした人が特定技能に移行し、20年12月時点で特定技能の85%を技能実習からの移行組が占めた。

実行委員会の永井拓三会長は「障害がある人もない人も、同じ世界観を共有できる」と意気込みを述べた。

東海第2巡回控訴理由書 原電、東京高裁に提出 避難計画に不備があるとして、日本原子力発電東海第2原発(茨城県東海村)の運転差し止めを命じた3月の水戸地裁判決を巡り、日本原電は7日、「避難計画を含む緊急時対応は検討途上で、判決は判断時期を見誤った極めて不合理なものだ」とする控訴理由書を東京高裁に提出したと明らかにした。

来週の聖火リレー 佐賀→福岡→山口→島根 聖火リレーは長崎県に続き、9日から佐賀県が舞台となる。有明海に立つ大魚神社の海中鳥居前を出発し、近代建築の父、辰野金吾が手掛けた武雄温泉楼門などを巡る。10日は弥生時代の堅穴住居を再現した吉野ヶ里歴史公園を走る。

11、12日は福岡県へ。新型コロナウイルスの緊急事態宣言の対象に追加されることを受け、公道でのリレーを中止し、両日とも無観客で点火セレモニーのみを実施する見込み。